年間授業計画 様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 商業 科目 簿記

教 科： 商業　　科 目： 簿記　　単位数： 4 単位

対象学年組：第 １学年 Ａ 組～ Ｆ 組

使用教科書：（ 簿記（東京法令出版） ）

教科 商業 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】簿記について実務に即して体系低・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】取引と財務諸表の作詞の方法御妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わるものとして科学的な今教に基づ

【学びに向かう力、人間性等】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
募金関する理論的な知識と技能にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジイネスの様々な場面で役に立つ実務に即ｊした知識と技能が身についている。	簿記をはじめとした様々な知識・技能などを活用し、取引の記録ｊと財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見出すとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなどに科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の控除を目指して自ら簿記について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他社と信頼関係を構築して積極的にかかわり、記帳・決算等適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任を持って取り組む態度が身につく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Ⅰ 簿記の基礎 簿記の基礎 資産・負債・純資産・貸借対照表の意味 収益・費用・損益計算書の意味	簿記の意味・目的を明らかにし、記帳の重要性を理解させる。 簿記の基本要素である資産・負債・純資産の意味を理解させ、貸借対照表の意味・形式を理解させる。 収益・費用の意味を理解させ、損益計算書の意味・形式を理解させ	【知識・技能】企業における簿記の必要性を理解し知識を身につけたか。資産・負債・純資産の種類、貸借対照表の構造・役割、財産法の仕組みおよび収益・費用の種類損益計算書の役割や損益法の仕組みを理解したか。 【思考・判断・表現】 簿記の意味・目的などを考えたか。簿記の基本概念としての 示唆H・負債・純資産・費用・収益が何かを施行し、それぞれを適切に判断し表現できた	○	○	○	1
	Ⅰ 簿記の基礎 取引と勘定の意味 仕訳と転記の理解 仕訳帳・総勘定元帳の記入 試算表の作成	取引により資産・負債・資本が増減することを理解させる。 勘定・勘定科目・勘定口座の意味・勘定に記入する方法を理解させる。 貸借平均の原理を理解させる。 仕訳帳・総勘定元帳の記入の仕方を理解させる。 試算表の役割及び作り方を理解さ	【知識・技能】簿記の取引の意味を理解していいるか。仕訳の手順を理解しているか。 【思考・判断・表現】取引の分解と勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。 【主体的に学習に取り組む態度】貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
	Ⅱ 各種取引の記帳 現金・預金などの記帳 商品売買の記帳 掛け取引の記帳	現金に関する記帳方法、現金出納帳に関する記帳方法について理解させる。現金過不足・小口現金について理解させ、その記帳方法の習熟をはかる。 分記法の復習から３分法による記帳方法を理解させる。商品有高帳では先入先出法・移動平均法について理解させる。 売上原価の計算による商品売買損益を計算する方法について明らかにする。掛け取引の意味を理解させる。 仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、習熟させる。	【知識・技能】各種取引に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身につけたか。３分封による記帳法や仕入帳・売上帳・松陰有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】各種取引および３分法についてその記帳法や仕入帳・売上帳・商品有高帳に関する知識を身につけ理解したか。 【主体的に学習に取り組む態度】取引に関心を深め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	Ⅱ 各種取引の記帳 手形の取引 その他の債権債務の取引	手形の種類を明らかにし、その仕組みと記帳方法について習熟させる。手形記入帳の役割あと記入方法を理解させる。 今まで学んできた以外の各種債権・債務についてその記帳方法、違いを理解させ、記帳を習熟させる。	【知識・技能】手形取引に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】手形に関する取引に関心を深め、その記帳処理の学習を	○	○	○	3
	中間考査			○	○		
	Ⅱ 各種取引の記帳 固定資産の取引 個人企業の取引 販売費と一般管理費、税金の取引	固定資産の意味、種類を明らかにし、記帳方法の理解。および固定資産台帳の役割を明らかにする。 個人企業における資本の元入れ、引き出し、引出金勘定の用いた方法を理解させる。税金の記帳方法を理解させる	【知識・技能】固定資産や個人企業の資本に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的・基本的技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】固定資産や個人企業の資本に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】固定資産や個人企業の資本に関する取引に関心を深め	○	○	○	2
	期末考査			○	○		
3学期	Ⅲ 決算 決算整理 ８桁精算表 帳簿決算	決算整理の意味とその必要性を理解させる。３分封による勘定の整理、貸倒の見積もり。減価償却のＳひょり法を理解させ、その記帳を学ばせる。８桁精算表の意味と差作成について理解させる。決算整理の意味とその必要性を理解させる。	【知識・技能】決算手続きの意味を理解して、決算手続きに関する基礎的。基本的な知識を身につけたか。 【思考・判断・表現】なぜ決算整理を行うかなどについて思考し、財産法を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に明確に表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】決算整理が企業の経営成績にどのような影響を与えるか	○	○	○	5
	学年末考査			○	○		
							合計
							30